

# 熊本県小国町間伐推進プロジェクト

## 概要



方法論: 間伐促進   
クレジット: (吸収見込量)  
2,500tCO<sub>2</sub>/5ヶ年  
(認証・発行済) 982tCO<sub>2</sub>  
実施者: 熊本県小国町  
実施場所: 小国町有林



(2012年6月1日現在)

## プロジェクトの紹介

### キーワード

- 小国杉
- 林業の持続性
- 低齢級林の搬出間伐
- 林地残材の利用促進
- 大型木造建築群

小国町は九州のほぼ中央、熊本県の最北東端に位置し、総面積13,700ha森林面積10,686haで78%が森林であり、豊かな緑と清らかな水そして雄大な山々に囲まれた町である。人口は8,097人(H24.4)。標高300~800mの間に耕地、山林、原野が開け山間高冷地帯で夏は比較的涼しく、冬は厳冬で積雪もある。平均気温は13°Cで年間降雨量2,500mmと多く地質と合わせて小国杉の育成に適した条件となっている。当町では、特産の小国杉の特徴を生かし、木造立体トラス工法による、ゆうステーションや小国ドームといった、大型木造建築群も建設している。これまで実現出来なかった低齢級林の搬出間伐を推進させることを最大の主眼に置いている。これまで低齢級林は材価との兼ね合いで採算性に乏しく、切り捨て間伐が主流になっていたが、適正時期に適切な搬出間伐を進めることで林業の持続可能性を維持、強化していきたい。

## 写真/イメージ

